

After NAB Show Tokyo

4月13日から16日に米・ラスベガスで開催されたNAB Showの公認イベントとして、日本国内においては「After NAB Show Tokyo 2015」が5月21日(木)・22日(金)には東京・秋葉原「UDX」にて開催された。

さらに5月26日(火)には大阪のグランフロント大阪 北館タワー

B 10階「Conference Rooms Tower B」にて「The 2nd After NAB 2015」が開催された。

主催＝一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会
NAB日本代表事務所(映像新聞社)

後援＝NAB(National Association of Broadcasters/全米放送事業者協会)

■アイティアアクセス(株)

ファイルベースのワークフローに最適な4K/HEVC対応のコンテンツ自動品質検査システム「Baton」と新製品の品質管理用トレンド解析の「Baton+」、HEVC Encoder & Decoder 製品開発に必携のA/Vストリーム詳細解析ツール「Vega HEVC アナライザ」、VoD向け高画質/高圧縮のHEVC対応のLive & File Encoder「Genova」、音声電子透かしによるコンテンツとの同期ソリューション「SyncNow AWM 2nd Screen」、WiFiを使った動画共有装置「VT-200」のデモを行った。(写真①)

■(株)アイ・ディー・エクス

2015年3月に発売開始の高耐久型セル採用「E-HL10DS」を展示。「E-HL9S」の後継である「E-HL10DS」は、容量が96Whで外部出力端子D-Tap出力を1個内蔵しており、周辺機器を多く使用することになった昨今の撮影環境に重宝するバッテリーである。ワイヤレス伝送システムは本年3月に発売開始した「CW-F25」の実機を展示。「CW-F25」は最大2kmの長距離伝送はもとより、インターカム、タリー、リターン映像が確認できるなど多彩な機能を備えている。その利便性が同展で確認可能となった。TVLogic社製のモニターは

新製品のラックマウント対応多連モニターを展示。その中でも「RKM-356A」はビューファインダーの人気モデル「VFM-056WP」のパネルを使用し、高精細な映像を多連モニターで実現しているモデルである。

■アドビ システムズ(株)

ラスベガスにてで先行公開された、Adobe Creative Cloud 映像制作ツールの次期バージョンを紹介。(写真②)
HDだけでなく4K、またはそれを超える解像度にも対応する、主力の映像編集ツール Adobe Premiere Pro CCでは、モバイルとも連携する強力な色調調整ツール、ジャンプカットを自然につなぐMorph Cut トランジションといった主な機能のほか、数多くの機能強化が図られている。

■ATOMOS(株)

4K対応モニター体型レコーダ「SHOGUN」を中心に最新カメラとATOMOSレコーダーの組みあわせを展示。また4Kテレビで実際にSHOGUNによって収録された映像を再生。その実力を示した。さらに、出荷が始まるバッテリーソリューション「POWER STATION」や、SHOGUNの最新ファームウェアのレビュー版を展示。新機能を見ることが出来た。

■アビッドテクノロジー(株)

Media Composer やInterplay ファミリーを中心に、ビデオ編集システム、メディア共有ストレージ、アセットマネジメント管理ソリューションなどを展示。また、業界でトップの実績を誇るICON やSystem 5 製品群のテクノロジーを活用した革新的モジュールデザイン、豊富なビジュアルフィードバック、オーディオ制作の標準であるPro Tools やその他EUCON 対応DAW アプリケーションをサポートする、最先端プロミキシング・コントロール・サーフェスの Pro Tools | S6 を中心に、Avid Everywhere ビジョンを実現する Artist Suite 製品を紹介。(写真③)

■伊藤忠ケーブルシステム(株)

伊藤忠ケーブルシステムでは、以下のラインナップにて展示を行う。(写真④)

・ターボシステムズ/4K UHD XJive PRO SDI モデル…4K XAVC/HEVC プレイヤーの3G-SDI出力モデルが登場。XAVC/HEVC Main10 など豊富なコーデックとMPEG-DASH やRTP ストリーミング受信に対応。専門知識不要の使い易さで、放送局や制作プロダクションなどのハイエンドなニーズに対応する4K コンテンツ再生環境を圧倒的な低価格で実現。



・axle video/axle 2015, axle EDIT… 革新的にシンプルなメディア管理ソフトウェア。新バージョンでは更に使いやすくなった GUI と DB を強化、LTO ライブラリとのアーカイブ連携やiOS でのラフカット編集に対応。

・Apantac/Micro-4K-DPD…4K/60P (3G-SDIx4 本)をDisplayport 1.2 に変換可能なコンバータ。市販のDisplayport 1.2 対応モニターでの4K プレビュー可能。また3G-SDI Level-A/B に対応している。

・G&D / DL-Vision-DP、ControlCenter-Digital…4K/60Hz 対応 Display Port KVM エクステンダーとKVM マトリックスのモジュールタイプが登場。KVM マトリックスはDisplayPort により4K/30Hz の映像に対応。

・その他…マルチベンダー対応のNLE 共有ストレージ、統合プラットフォームを紹介。

・ライブストリーミング映像へのコンテンツマスク/差替…SCTE-104/35 またはマニュアルトリガにより、フレーム精度のマスキングが可能なシステム。番組編成情報に基づいてマスキングのトリガ信号を映像信号に重畳することにより、配信不可コンテンツを正確にブラックアウト/フィルター挿入が行える。

イベントライブや生放送番組のストリーミング配信でも、任意のタイミングで広告やフィルターを差し込むことが可能。外部から適切なトリガを送り込み、ストリーミングエンコーダの入力ポイントにおいて、フレーム単位の正確さでコンテンツマスクを行うシステム。

・サーバーサイド Ads 挿入…プレーヤーアプリの変更なしにコンテンツ差替、ターゲット広告挿入を行うシステム。HLS/MSS 配信時に、ユーザがアクセスしてくる地域や、あらかじめ取得済みのユーザ属性情報に基づいたユーザ/グループ情報をサーバ側に渡すことで、ユーザ毎に異なるコンテンツ・広告挿入を行うことが出来る。全てサーバーサイドの

仕組みなので、既存再生プレーヤの変更・追加開発が必要なく、従来の放送チャンネル同様の視聴体験を実現でき、視聴ログ収集・解析も可能。

■**インテル(株)**

昨年に引き続きアドビシステムズと共同出展。究極のハイパフォーマンスを実現するインテルプロセッサおよび、耐久性と信頼性をもたらすインテルSSD により、プロフェッショナルレベルの4K 映像のCG&VFX 編集を快適に作業する最新のインテル・テクノロジー。また、HDMI 接続の新世代のスティック型コンピューター「インテルCompute Stick」も同時展示した。

■**ヴァイテックビデオコム(株)**

ヴァイテックビデオコムは、革新的な業務用カメラ周辺機器を提供する数々の著名ブランドを有している。また、急速に進むカメラの小型化/高機能化にもいち早く対応し、映像制作のニーズに応えるLED ビデオライトや無線HD 映像伝送機器などの新たなカテゴリにも進出。「トータルソリューション」を提供するメーカーとして、発展を続けている。(写真⑤)

Litepanels :Astra 1X1 ファミリー フラットパネル型LED ライト…高CRI 値を誇る次世代のLED ライトを、光出力や色温度の異なる製品ラインナップを取り揃えて紹介。

Teradek :無線HD 映像伝送システム…非圧縮・ゼロディレイ (遅延1ms 以下)・シンプル操作の無線伝送システムから、IP ネットワークを介したストリーミングを容易に実現するエンコーダー/デコーダーまで、用途に応じた提案。

Sachtler Bags :新カメラバッグラインナップ…高耐久性や優れた収納性・デザイン性で好評のペトロールバッグ製品を、新たに「ザハトラ」ブランドで市場導入。

■**(株)ヴィレッジアイランド**

NAB2015 では、同社が国内代理店を務めているヨーロッパ、アメリカですぐれた実績のある各パートナー企業が、ユニークな製品を展示。AfterNAB2015 では、NAB で紹介した製品から日本の放送業界向けに特にピックアップした以下の製品を紹介。(写真⑥)

・DekTec Digital Video B.V :DTA-2179 (3系統の4K 信号入出力)、DTA-2195(デュアル12G-SDI 入出力+HDMI)、DTU-315 (世界中の放送規格に対応したユニバーサルマルチスタンダード変調インタフェース)

・Barnfind Technologies AS :BTF1-09/10 (4K 対応CWDM 光多重伝送。マルチI/F コンバータ、LAN やSFP、アナログ・オーディオ対応)

・Thomson Video Networks :FUZE-1: (高画質エンコーディング機能、OTT ストリーミング機能を含めた革新的Channel-in-a-Box システム)

・Witbe inc:サービス監視ロボット (ライブ、VOD、4K サービスなど対応OTT 監視システム)、自動検証ロボット (STB・スマートデバイス開発向け自動検証システム)

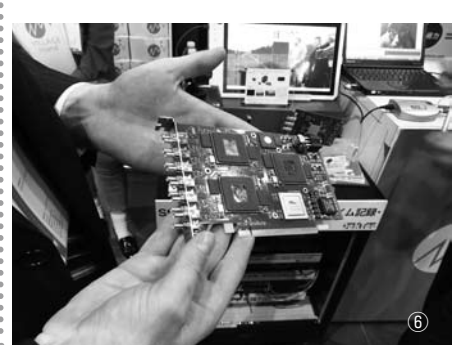
・Quales.TV :Quales Video Quality Check (ASI、HD-SDI、又はファイル入力対応ビデオ・オーディオ品質の監視ソフトウェア)

・digigram :Kalray 社のマルチコアプロセッサMPPA

・自社製品 :HD/SD 対応HEVC/H.264/MPEG-2 マルチフォーマット リアルタイム 1Uデコーダ

■**AJA Video Systems**

ファームウェアv1.2 により、さらなる進化を遂げた4K プロダクションカメラ「CION」や4K60p 対応のビデオI/O カード「KONA 4」を搭載したデスクトップシステムなど4K 対応製品のアップデートや最新ワークフローを紹介。また、UltraHD/HD HDMI から4 本の



3G-SDI 信号へ変換可能な「HA5-4K」、4K/ UltraHD/HD 3G-SDI とデジタル光ファイバーの相互変換により最大10kmの信号伝送が可能にする「FIDO-4T-ST」および「FIDO-4R-ST」、複数ある3G-SDI 信号のチャンネルを1本のファイバーケーブルで伝送させることができるCWDM (Coarse Wavelength Division Multiplexing) SFP オプションが用意された「FIDO-2T-CWDM」など、NAB2015 で発表されたミニコンバーター新製品も一同に展示した。

■EIZO(株)

NAB Show で紹介した4K ソリューションを日本でも余すところなく紹介。3/20 に新発売したDCI 4K 対応のColorEdge CG318-4K は、映画やCMのグレーディング編集作業、またプレビュー確認も1台でこなせるフラッグシップモデル。専用ソフトウェア+内蔵のセンサーでの正確で簡単な色管理をはじめとした、快適に使用するための各種性能をEIZOの専門スタッフが紹介。23.8型のUHD 4K モニターCG248-4K は、放送コンテンツ編集用途。(株)IMAGICA 協力のもと搭載した、次世代のスーパーハイビジョン基準のRec.2020 色域映像をRec.709 にクリッピングする機能や、ネットワークで遠隔上に複数モニターの表示品位を管理するソリューションなどを実演した。

■(株)HGSTジャパン

G-Technology 製品

- ・ NAB2015で「Digital Video Best of Show」を受賞した全圏対廠型G-DRIVE ev ATC Thunderbolt を中心に、G-DOCK ev シリーズ製品を紹介。
- ・ Thunderbolt 2 テクノロジーを搭載した RAID ストレージシステムを中心に映像製作分野でのワークフローとのソリューションを提案



■(株)エム・アンド・アイネットワーク

TC-200 HD/SD - キャラクタージェネレーターキット…TC-200 は付属のソフトCG-200 を用いることで、移動放送、会議のライブ中継、ダイナミックなビデオプレゼンテーションなどに使用できる革新的なHD CG システム。ユーザーはパソコンを使い、魅力的なグラフィックやタイトルをリアルタイムでスクリーン上に作成し、伝えることができる。操作が簡単で、緊迫したライブイベント下で直感的かつ迅速に反応できるように設計されている。VP-633/634 - SDI リピーター…コンサートホールやスタジアムでの収録・中継などで長距離伝送が必要な時に非常にコンパクトで使いやすく設計された製品になっている。VP-633 を親機として受元に置き、送り元になるカメラ等の機材までVP-634 を最大2台まで(付属のACアダプター 12Vの場合)カスケードして接続することにより長距離伝送を可能とする。

■エレメンタルテクノロジーズ

エレメンタルのソフトウェア定義の映像処理技術を実装したライブエンコードおよびファイル変換、オンプレとのハイブリッドシステムが組めるクラウドソリューションから、リニアおよびOTT を一貫とした映像配信プラットフォームで行えるソリューションまで、各アプリケーションおよび4K を含む次世代映像サービスに関して、NAB2015 の新情報を実機デモンストレーションも揃えてラインアップで紹介。

■オートデスク(株)

プロジェクト管理ツール、SHOTGUN を紹介。SHOTGUN は進行管理、アセット管理、レビュー&承認の機能を持つ拡張性の高いクラウドベースのソリューション。Maya、3ds Max、Flame、Photoshop、Nuke などのソフトウェアと密接に連携し、タスク管理が可能に



なります。さらにNAB2015のタイミングで発表されたAutodesk Flame Family 2016の最新情報を紹介した。2016バージョンにて搭載された新機能、Lightbox なども紹介。

■(株)オンリースタイル

撮影・編集・照明機材の電源確保に最適な蓄電型電源「エコパワー2500」と、屋外でも使用可能で最大容量5000Wの「エコパワー6400」を展示。電源レンタルエコパワーの特徴は、ガソリンいらず・排気ガスゼロ・騒音も出ない為、ガソリンが使えない室内、電源のないロケ現場、イベントでの電源確保、法定停電のバックアップなどで使用できる全く新しい電源。満充電された状態でユーザーへ届けるので、すぐに利用可能。電気を使い果たしてもACコンセントからの充電により蓄電し、繰り返し使用できる。電源レンタルはサービス開始から大反響。放送局や制作会社、代理店をはじめ多くの利用実績があり、さまざまな用途に安心して利用可能である。

■キャノンマーケティングジャパン(株)

今年の「NAB SHOW」にて4K カメラ2機種、業務用4K ディスプレイの新製品を発表。これら新製品の展示に加え、UDX THEATERにてセミナーも実施した。(写真⑦)

主な展示品は以下のとおり

- ・ CINEMA EOS SYSTEM 「EOS C300 Mark II」【NEW】(写真⑧)
- ・ 業務用ビデオカメラ「XC10」【NEW】
- ・ 業務用4K ディスプレイ「DP-V2410」【NEW】
- ・ 放送用ポータブルレンズ「HJ24e x7.5B」【NEW】

■共信コミュニケーションズ(株)

本格的な合成・カラーグレーディングが可能な「SGO Mistika」を展示。最新Ver. 8.4では以下の新機能を搭載した。(写真⑨)

- マルチGPUのサポート



- AAF コンフォームの強化
- EDR/HDR ワークフローの対応 等々
その他Avid 編集システム等、4K 制作ワーク
フローの展示を行った。

■Z3テクノロジー・ジャパン(株)

Z3 Technology,LLC の主事業は、IP とモ
ジュールをセットメーカーに供給するプロダ
クトとセットトップボックス (ZEUS)を供給
する2つのプロダクトがある。特徴は、画像処
理の心臓部を汎用のDSP で構築しておりメイ
ンとなるIP はソースコードで保持し、また画
像処理部のモジュール化などハードウェアも
全て自社設計・製造しているメーカーである。
機器は小型軽量・ローコストで独自のGUI に
よりビットレートやフレームレート等の設定
を容易にである。

展示内容

1. H.264 マルチチャンネルエンコード・デ
コード
2. 4K エンコード・デコード
3. HEVC ハードウェア

■ジャパンマテリアル(株)

取り扱い製品である、カナダMatrox 社、韓国
VRi 社およびオランダVidiGo 社製品を展示。

- ・デュアルチャンネルH.264 エンコーダー
「Matrox Monarch HDX」…日本初披露と
なる新製品。ビットレートの異なる2つのス
トリーミングを同時に配信・録画すること
ができ、SDI 信号の入力にも対応している。
- ・リアルタイム3D キャラクタージェネレー
ター「KarismaCG」…最新のグラフィック
スを使用し、高品質な2D/3D テロップを
実現。レンダリング不要のリアルタイム再生に
対応しています。DEKO ファイル読み込み
機能も搭載。
- ・スタジオオートメーションシステム「VidiGo
Live」…オペレーター1人で番組の管理・送
出を実現する完全PCベースのマルチカメ
ラライブTVソリューション。直感的に操作

でき、更新や機能追加もソフトウェアベース
で行える。

■(株)ダイナミックス

TERIS 社 (図瑞斯)は中国の業務用雲台・三
脚製品を製造する専門メーカー。「TERIS」は
TERIS 社の海外販売向け製品のブランドであ
り、中国国内で高い評判を得て、中国の業務用
雲台・三脚のトップメーカーである。TERIS
社の製品は頑丈で、厳しい品質管理制度によ
って、各部品の精度が高く、組み立てできた雲
台および三脚の故障率は低く、耐久性と優れた操
作性により最高のバランスで撮影が可能し、カ
メラマンの負担を減らせる。「TERIS」ブラン
ドの製品は三年保証を付けます。製品のメンテ
ナンスは専門技術者により日本国内で行う。(株)
ダイナミックスはTERIS 社と協力し、TERIS
社の日本事務所を作って、日本マーケットで全
製品を販売し始まります。現在、「TERIS」とい
うブランドは日本国内の商標登録手続きを進
行中である。

■(株)データダイレクト・ネットワークス・
ジャパン

データダイレクト・ネットワークス (DDN)
は圧倒的な拡張性と高性能を誇るストレージ
を提供しているベンダー。NAB で新たに発表
された、メディア&エンターテイメント業界向
けソリューションを中心に、DDN の取り組み
を紹介した。

■(株)テクノハウス(写真⑩)

ConvergentDesign 「Odyssey7Q+」…7.7
インチ有機EL パネルを搭載したフィールド
レコーディングモニター。SONY、CANON、
ARRI の4K RAW データを収録できるほか、
1080i/p ProRes422HQ 10bit MOV ファ
イルの収録、非圧縮1080p 4:4:4 RGB 10
bit DPX ファイルの収録に対応する。(写真⑩)
IOIndustries 「FLARE 4KSDI」…グローバ
ルシャッターを搭載した4K 解像度コンパク

と専用の受信用サーバーを組み合わせる様々
な場所から迅速な中継が可能。

bw broadcast 「RBRX1」…監視・中継機能
搭載、FM リファレンスチューナー。FM90 ~
95MHz のFM 補完放送の周波数帯域に対応。
また、モノラル→ステレオブレンド、ソフト
ミュート、ハイカットなど、より高い品質のサ
ウンドを得るための機能が充実。パラメーター
の閾値を設定し、RF 信号の受信状況により自
動で調整。電波の状況に応じて常に最適な設定
での運用ができる。

■(株)T o o

Adobe 4K Editing System…Adobe
Creative Cloud アプリケーションを使用し
て、PremierePro での編集、AfterEffects の
コンポジット、SpeedGrade でのカラーグ
レーディングによる4K60P リアルタイムプ
レビュー制作システムを紹介。

Autodesk Shotgun…クラウドベースの
プロジェクト管理ツールであるAutodesk
Shotgunの強力なアセット管理機能をメイ
ンで紹介。

■(株)トラフィック・シム

TS 同録システム「2K ~4K 60P プレイバ
ックオプション」…トラフィック・シムのTS 同
録システムは4K に対応。ユーザーは専用クラ
イアントPC を追加するだけで、任意の日時か
らHEVC/H.265 のデコード再生確認が可能
になった。4K 放送の検証用同録、法定同録、
HEVC 素材伝送同録など、幅広い用途で使
用可能である。

HACOBEE2 オールインワン RF/TS アナライザ

- ・レコーディング機能搭載！後追い解析や現
場環境の再現が可能
- ・DVB-ASI 入力+出力
- ・ISDB-T/Tb, ISDB-S, 64QAM/256QAM
復調+変調
- ・IPv4 / IPv6 両対応入力/ 解析機能
- ・リモート制御機能の実演
- ・システム構築後の確認時間を、大幅に短縮す
る新機能を紹介

■日本デジタル・プロセッシング・システムズ(株)

DPSJ ブースでは従来からのベースバンドか
らファイルベース、ストリーミング配信サー
バー、メディア管理ソリューションを取扱っ
ている。今回のAfterNAB では、主にIP 化に向
けた最先端のIP ベース・ソリューション (4K



HEVC 対応含)を紹介した。(写真⑫)

- ・ Skype TX をベースとした、Skype をプロ仕様のSDI 信号へと変換するライブ中継向けソリューション「Quicklink TX」
- ・ ストリーム品質を安定化させた拠点間伝送を行うトランスミッター・レシーバー「Dozer」
- ・ ベースバンドへのデコードなく、IPストリームのスプライス(広告挿入など)やロゴ挿入、録画等を可能にする「InStream」
- ・ 伝送されたIP ストリームのパケロスを修復し、画質の安定化を実現する「Zixi」
- ・ 4K HEVC リアルタイムエンコーダ「Excel 4000」



■ニューテック

NewTek ブースではMicrosoft 社の「Skype TX」を使用して放送品質の映像を中継できる、「TalkShow」とHDMI ベースのコンパクトなライブプロダクションシステム「TriCaster Mini」を展示。TalkShow はコンパクトな1Uのラックマウント筐体にSkype TX がインストールされていて、SDI やXLR の入出力端子により直接業務用のスイッチャーやミキサーと接続することが可能。TalkShow によって高品質なSkype 中継をスタジオサブで受けることができるため、ノートPC やスマートフォンで現場の様子をレポートする事が可能となる。また、TalkShow 同士によるさらに高品質なSkype TX 通信のデモンストレーションも行った。



■ビジュアル・グラフィックス(株)

VG I ブースではノンリニア映像制作の作業効率化に役立つ様々なネットワークソリューションを紹介。マルチアプリケーション対応ハイパフォーマンスプロダクションストレージ&MAM「Editshare」(米)、40/10G 対応ネットワークスイッチ「Mellanox TECHNOLOGIES」(米)、データ変換におけるファイルマネジメントツール「ROOT6 TECH」(英)等々、NAB2015 でリリースされた最新プロダクトを展示した。(写真⑬)

■(株)ビジュアル・プロセッシング・ジャパン

映像制作環境はファイルベースそしてデジタルワークフローへの移行に伴い、受注から納品までのビジネスプロセスも大きく変化している。クライアントや代理店とのコミュニケーションや映像データの管理やプロジェクト内での共有方法もインターネットやクラウドに対応する事で、映像ビジネスの生産性を高める事が可能になった。

VPJ はデジタル時代の映像ビジネスワークフローに着目し、ブラウザベースでのファイル管理システム「thiiDa4」による最新のビジネスワークフローを紹介。同製品は制作で必要とされる各種ムービーフォーマットやtiff 連番ファイル等の他、各種オフィスデータやグラフィックデータのプレビュー生成を行い管理する。タイムラインのサポート、ビデオの切り出し、マルチエンコード変換、アーカイブレストア機能や承認・編集指示・進捗管理などの効果的なオンライン コラボレーション機能、映像情報のデータベース管理、著作権情報管理そして大容量映像ファイルの集配信等、受注から納品まで必要とされるワークフローをサポートする。

■(株)フォトロン

「ファイルベース」「4K」をキーワードに、ラスベガスで発表された最新機器や、4K 搬入基準



に準拠した製品を中心に出席。新バージョンが発表された「BlackmagicDesign DaVinci Resolve 12」「ROHDE & SCHWARZ CLIPSTER 5.10」「Telestream Vantage Ver.6.2」をはじめ、ソフトウェアベース・プロフェッショナル・メディアプレイヤー「ARCHIMEDIA Atlas」などを展示。豊富な取り扱い製品のなかから、ユーザーニーズにあわせて最適なワークフローを提案した。(写真⑭)

■ブラックマジックデザイン(株)

NAB 2015 において大規模な技術開発による38 種類の新製品を発表した。新しい4.6K センサーを搭載したBlackmagic URSA/URSA Mini は4K/60P での壮大なシネマショットを可能にし、ATEM 2M/E Broadcast Studio 4K は12G-SDI でのライブスイッチングを実現する。また、Micro Cinema Camera/Micro Studio Camera 4K の登場により、より高画質の映像を入手しやすくなる。そして、DaVinci Resolve 12 はマルチカメラ、3D キーイング、3D トラッキングなど、80 以上の新機能が追加され、最高水準のノンリニアエディターへと進化している。今回のAfter NAB Show では製品展示とセミナーの双方で新製品の特徴を紹介した。(写真⑮⑯)

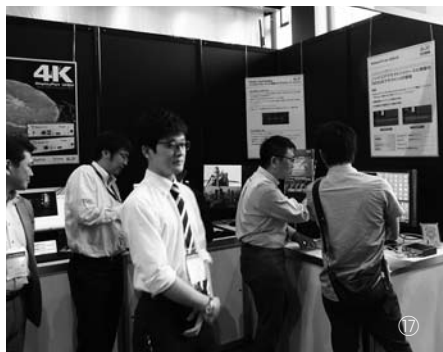


■**報映産業(株)**

映像/音声ファイルの共有ストレージメーカーとして定評のある Facilis 社から、SSD と HDD のハイブリッド構造により業界最速のパフォーマンスを実現した新モデル TerraBlock 24D/HA と、従来モデルと同様の基本スペックを持ちながら2Uサイズに小型化された TerraBlock 8D/16TB モデルが初登場。また、パカパカチェッカーでお馴染みの CRS 社ハーディングシリーズには、待望の Edius プラグインが追加ラインナップ。好評の Avid プラグイン同様に、Edius ユーザーも編集集中に PSE 解析を行うことが可能になる。本展ではこれらの新製品を、4K 高解像度にも対応しながら遅延なく、ストレスの無い作業を可能にするドイツの KVM 専門メーカー、IHSE 社のデジタル KVM システムを使用しながら展示。放送局、ポストプロダクションスタジオ、レコーディングスタジオなど、幅広いユーザーから既にデファクトスタンダードとして認知され、多数の国内導入実績をも誇る最新型の KVM システムを紹介した。(写真①⑧)

■**(株)メディア・ソリューションズ**

昨年より国内販売を開始し、シンプルかつ革新的な MAM (メディア管理システム) として好評の「axle」の2015年モデルの実機デモを行った。次世代バージョン「axle2015」では、システムの高速なレスポンスにより、ビデオ制作におけるワークフローをスムーズにこなす事ができる。また、プラットフォームを新



たに再構築し、従来の倍となる60万を超えるメディアセットに対応できるようになった。ユーザーニーズに応え、インターフェースも更にシンプルで使い易い設計となった。更に、「axle2015」と同時にリリースされるオプション「axle Edit」では、iPad ベースでのラフカット編集を実現する。タッチ操作のシンプルな設計で、時間や場所を選ばずにラフカット編集を行える。モバイルデバイスで録画した映像ファイルを、メインストレージにあるメディアファイルと統合する、ジャーナリストのワークフローに最適である。

■**(株)ユニテックス**

超高解像度映像のアーカイブに最適な LTO テープ製品を、実機デモを交えて展示。これまでサーバーへの SAS 接続でしか使用できなかった LTO を世界初の USB3.0 接続を実現し、Mac/Windows のノート PC で使用可能にした。例えば、LTF5 機能やアーカイブソフトウェアとの併用により、4K・8K での番組制作やロケ収録等で使用されるメモリーカードを、お手元の PC から簡単に LTO へアーカイブが可能である。

- ・LT60 USB LTO-6 テープ装置…世界初の USB 対応 LTO-6 テープ装置です。業界標準のアーカイブソフトウェアにも対応、柔軟なアーカイブ環境を構築可能。
- ・FASTCopyLT LTF5 対応データコピーソフトウェア…コピー先に LTO/HDD 同時コピーを設定可能で、ベリファイ機能によりコピー元とコピー先ファイルの完全一致を確認出来る。
- ・HandyLT HLT560M ポータブル LTO 映像アーカイブシステム…世界最軽量 (5 kg)・強固なボディで撮影現場での持ち運びを可能にした、スマホやタブレットからも操作が可能なシステム。

■**リバーシリカテクノロジーズ**

RiverSilica Technologies PVT LTD (以下、リバーシリカ)は、インド・バンガロール市所在のスタートアップ企業である。トランスコーダー製品の開発・生産・販売を行っている。NAB Show には、2013年から3年連続で展示を行っている。製品は、ハイエンド向け HE シリーズ、ミドルエンド向け EL シリーズ、簡易コンパクトサイズの SB シリーズ等ラインアップしている。セールスポイントとして、低コスト、新規映像・音声などソフトウェア

の実装容易、特許化されたアルゴリズムによる高性能など挙げられる。

今回は、ラスベガス NAB ショーでの展示・デモと同じ内容で、①HEVC/H265 4K 解像度のマルチスクリーンデモ、②YouTube、アップリンク、マルチスクリーンデモ、③ロスレス音声圧縮技術 (MPEG-4 ALS) の実演を行った。

■**(株)RAID**

NAB2015にて初出展した商品群をご案内

1) Freely System 社

新規空撮システム : ALTA

MoVi リモートオペレーション : MIMIC

3軸コントロール : WEDGE

2) SmallHD 社

フルHD 対応 502HD On-Camera モニター

3) ColorFront 社

8K60P 対応 TransKoder による

HDR 機能を含めたデモンストレーション実施

■**ローランド(株)**

【新製品:映像機器】マルチフォーマット・ビデオ・スイッチャー「V-1200HD」2 M/E スイッチャーとマルチフォーマット・プロセッサのハイブリッド・エンジンを搭載。

【新製品:音響機器】ライブ・ミキシング・コンソール「O・H・R・C・A M-5000」チャンネル構成を自由に設定できるコンフィギュラブル・アーキテクチャーを採用。96kHz の高音質卓。(写真⑩⑲)

